

尾張旭市小中学校食物アレルギー対応検討会議 議事要旨

1 開催日時

令和4年12月8日(木)

開会 午後2時

閉会 午後3時00分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 302会議室

3 出席委員

瀬戸旭医師会医師 宇理須厚雄

尾張旭市小中学校長会 井田 寿

教育政策課長 田島 祥三

管理指導主事 伊藤 彰浩

学校給食センター所長 松原 友雄

4 欠席委員

消防署長 糟谷 仁史

5 傍聴者数

0人

6 出席した事務局職員

学校教育課長 田中 健一

指導主事 寺田 泰次郎

7 議題等

(1) 小中学校における食物アレルギー対応マニュアルについて

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

8 会議の要旨

指導主事

本日は、御多用のところ御出席をいただき、ありがとうございます。

開催に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。

「次第」が1枚と、別紙「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」です。「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」につきましては、事前に送付させていただいておりますが、本日お持ちでない方は、お申し出ください。

ただ今から、令和4年度第2回尾張旭市小中学校食物アレルギー対応検討会議を開催いたします。

本日の会議は、5人出席であり、尾張旭市小中学校食物アレルギー対応検討会議設置要綱の定数を満たしておりますので、有効に成立しております。なお、糟谷委員からは欠席の連絡をいただいております。

また、本委員会は教育委員会の懇談会であり、附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第6条各号の規定により、原則的に会議を公開するとともに、会議録を作成します。

傍聴席は、事務局の席の後ろに設けてあります。現在、傍聴者はおられません。

これ以後の進行につきましては、会長の管理指導主事、伊藤先生にお願いいたします。

管理指導主事

(あいさつ)

それでは以後の進行を次第に従いまして進めていきます。

議題1「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」について、事務局から説明をお願いします。

指導主事

(事務局説明)

別紙「小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」をご覧ください。

これは、第1回のこの会での御意見・御助言を受け、10月に作業部会で再度検討し、修正したものとなっております。

主な修正点は、吹き出しで表記してあります。

順番に確認していきたいと思っております。はじめに1ページをご

覧ください。「Ⅰ 食物アレルギーの基礎知識」につきましては、前回の宇理須先生の御指摘を受け、全面改訂しております。

次に6ページ(2)を御覧ください。「個別に」とあったものを、「児童生徒に合わせた」と修正しました。次に7ページを御覧ください。「教頭先生の役割を入れるべきではないか」とう御意見をいただき、作業部会の中で検討した結果、「校長及び教頭」と表記しました。理由としましては、校長と教頭の役割が明確に決まっている訳ではなく、管理職として学校内で相談しながら対応しておりますので、「校長及び教頭」という表記にしました。次に10ページの表に「実施月」が入ると分かりやすいという御意見をいただきましたが、作業部会の中で「一律に月が決まっている訳ではないので、実施月を入れると混乱するのではないか」という意見があり、実施月を入れておりません。同様に、「提出一覧があるとよいのではないか」という御意見もいただきましたが、「その人その人によって提出するものが異なる」という理由で、提出一覧については作成しておりません。「関係書類」の欄に資料編のページ数を入れました。次に15ページのアレルギー対応の流れの図ですが、上にタイトルを入れ、分かりやすくしました。次に17ページの「『Ⅴ 食物アレルギー発症時の対応』の内容について再検討してください」という御意見がありました。作業部会で検討しましたが、改めてここで詳しく載せると、さらに量が増えてしまい煩雑になってしまうのではないかという意見があり、【資料編】のページ数を入れることで、より分かりやすく、見やすくなるのではないかという結論になりました。以上でございます。本日は、このマニュアルについて再度協議していただければと思います。

管理指導主事

事務局より、前回のこの会からの依頼等を受け、作業部会で検討し、策定したマニュアルについて協議してほしいという意見がありました。本文の部分と資料編に分けて再度協議していきたいと思えます。

はじめに、「本文」について御意見やご質問がありましたらお願いします。

宇理須委員	3 ページの「栄養障害が生じない食事による栄養確保」ですがタイトルにマッチしていない(1)(2)(3)(4)が並んでいるので、「栄養障害の例」といったように、サブタイトルを入れた方がいいのではないのでしょうか。
管理指導主事	これは入れた方がいいと思いますので、入れていただきます。
井田委員	1 ページの 2 と 3 のタイトルが太字になっていないのには理由がありますか。
指導主事	全て太字に修正します。
宇理須委員	4 ページの 2 (1)の最後だけ文末表現が違っていると思います。
指導主事	「図る」に修正します。
宇理須委員	エピペンのRは本来は右肩についているものですが、このマニュアルだと横にならんでいるので、可能であれば右肩にお願いします。
管理指導主事	ルビ設定か何かでうまく修正してみてください。
指導主事	修正します。
井田委員	1 3 ページの図ですが、「問 3 の回答（特別な配慮や支援を希望する。）」を 2 つに分けて、「問 3 の回答」の下は「する」、「問 1 ・問 2 の回答」の下に「しない」とした方が分かりやすいと思います。また、「配布」ではなくて、限定して配布するので、「配付」の方が適切ではないのでしょうか。
管理指導主事	同じページに「配付」と「配布」があっても混乱するので、全員ではなく「限定してはいふする」という意味で、「配付」に統一してはどうでしょうか。
指導主事	「配付」で統一します。

宇理須委員	14ページの「学校給食における食物アレルギーの対応の内容」が書いてありますが、もう少し書いてもいいのではないのでしょうか。例えば尾張旭市はマヨネーズを使わず、ノンエッグマヨネーズを使っていると思います。他にも卵を使うようなものでも卵を使わずにつなぎ程度のものであれば他のものを使っていると思います。これだけでは寂しく思いますし、これだけしかやっていないと思われるのではないのでしょうか。
指導主事	作業部会の中でもどこまで載せるのかという議論がありました。
松原委員	マヨネーズはずっと卵抜きノンエッグマヨネーズを使っています。カレーのルーも小麦抜きは変わらないと思います。ただハンバーグはどうなるか分かりません。小麦は抜いているはずですが、他の成分は納入する年によって変わることがあるので、あまり細くなるのはどうかなあとと思います。
指導主事	変更するものはまずいでしょうが、固定しているものは入れてもいいのではないのでしょうか。
管理指導主事	これは給食自体での考えとして、「例、ノンエッグマヨネーズとか小麦を抜いたカレールー」といったものを入れてはどうでしょうか。普通なら小麦アレルギーの子はカレーを食べられないし、乳と卵ではないので代替食を持ってくるしかないですが、そうならないように全体の子に対して対応しているといった表現を入れることができると、限定の子だけでなく市内7000小中学生にも配慮しているとなるのではないのでしょうか。センター長から例を出してほしいと思います。
宇理須委員	16ページに書いてある「重篤度が高いためそばは使用しない」といったことが書いてあるのですが、これも対応に含まれるので、どちらかにまとめた方が分かりやすいと思います。「学校給食における食物アレルギー対応の内容」をもう少し実態に合わせて盛りだくさん書いた方がいいと思います。

管理指導主事	重複を避けるためだったら、16ページの内容の一部を14ページまとめ、16ページには14ページに書いてあることに基づいて献立を作成しているとまとめたほうが重複を避けられるのではないのでしょうか。
宇理須委員	一覧で見れた方が、保護者も「これは大丈夫だ」と理解がしやすくなると思います。
指導主事	16ページの「献立作成から配送までの留意点」の「献立作成」の2番目と4番目を14ページに持ってきて、後は先ほど出てきたノンエッグマヨネーズや小麦抜きのカレールウといったものをプラスしていきたいと思います。
宇理須委員	もし可能なら使う食材の一覧も出せたらいいと思います。名古屋市保育所がやっています。多くの保護者は献立表を見ていません。従って、「未摂取」と書いてくるのですが、実際は給食で食べている場合が多く、保護者の一部は子どもが給食で食べている物を知りません。献立表を見てほしいという指導もしてほしいのですが、食材一覧があると「来年までに医者と相談しよう」となると思いますし、医者も参考になります。ただ名古屋市も「変更する場合があります」といった付記がついています。
指導主事	14ページに載せるものを給食センターの方から教えてほしいと思います、また食材一覧については検討をお願いします。
管理指導主事	食材一覧については、要相談をお願いします。
田島委員	12ページの2(3)ですが、前回の会だこの(3)を大きい「3」に変更して、13ページの「3」を「4」とするという訂正が入っていたと思います。
指導主事	訂正します。
宇理須委員	ヒヤリハット事例の報告については、無記名で出してもいいとしてはどうでしょうか。

指導主事	県まで報告するようなものは記名が必要ですが、それ以外のものは無記名でもいいと作業部会で確認しておりますので、ヒヤリハットの欄に記載したいと思います。
井田委員	学校は年度はじめに消防署に「エピペン所有者一覧表」を提出します。これも必要だと思いますので、6ページの(4)に入れるか、7ページの教職員の役割にいれるかして、最後に資料に入れるといいと思います。消防機関にとってもとても役に立つと思います。
管理指導主事	入れた方がいいと思います。入れるなら「校長及び教頭」の欄だと思います。
井田委員	「年度はじめに、エピペン所有者一覧表を消防機関に報告する」を入れて、資料としてつけてもらえると分かりやすいと思います。
指導主事	消防にも確認し、資料も含めて入れていきたいと思います。
管理指導主事	それでは次に、「資料編」に入りたいと思います。資料編について、ご意見ありましたらお願いします。
松原委員	年月日を「〇〇」に統一した方がいいと思います。
指導主事	統一していきたいと思います。
宇理須委員	これはカラーになるのですか。特にエピペンの使い方のところの写真はカラーだと分かりやすいですね。
指導主事	データはカラーとしてありますが、カラー印刷はなかなか難しいと思います。
宇理須委員	それぞれの学校にマニュアルができるのですか。
指導主事	今まではこういった統一したものがなかったので、学校ごとに作成していましたが、これが完成すればこれが基になると思います。

井田委員	学校としては、どこの学校もこれが欲しいと思います。
宇理須委員	学校ごとのマニュアルでは、これを基に誰が動くか担当者あるいは担当職員名が具体的に記載されていた方が分かりやすいと思います。
松原委員	資料15ですが、「アナフィラキシーショック」とあったものは、「アナフィラキシー」と変更しました。
管理指導主事	今一度、マニュアル全体を通して、御意見や御質問がありましたらお願いします。
田島委員	何か表紙は絵か何かを入れるのですか。あさピーなどをいれてはどうでしょうか。
指導主事	ぜひ、あさピーを取り入れていきたいと思います。
松原委員	他の自治体や県を参考にして作成していると思いますが、参考にしましたよといった文言をどこかに入れた方がいいかと思いますが、どうでしょうか。
田島委員	他の市町はどうでしょうか。
指導主事	そういった記載はなかったと思います。
田島委員	基本は愛知県のものですよね。
指導主事	その通りです。本文の中にそういった記載は入れてありません。
宇理須委員	資料9ですが、指導表の書き方が載っていますが、右の卵殻カルシウムなどの欄に説明がありますが、これは違って「ごく微量でもアレルギーが出てしまう患者さん」であり、重篤ということは関係ありません。本欄の食品には極微量のアレルゲンしか含まれていません。○がついた場合は、当該食品に含まれる極微量のアレルゲンでも発症することを意味し、給食調理の段階で避けられない微量混入でも発症する恐



	れがあります。そのため、給食提供が困難となる場合があります。
指導主事	これは県のデータだったかと思imasuので、今一度確認し、修正していきたいと思imasu。
宇理須委員	県のマニュアルにもそういったことが書いてあります。今問題になっているのは油です。使い回しの油がダメな人のことも書いてあります。最近、使い回しの油を使わざるを得ないということで、そういったことを聞いてくる親もいます。
松原委員	給食センターにも以前に聞いてきた親がいました。
宇理須委員	学校から言われて聞いてくるのですが、なかなか医者側で安全を担保することはできないので困っています。文科省のマニュアルには、油の使い回しがダメな人は給食を提供できませんと書いてあります。
管理指導主事	それでは議題2「今後のスケジュール」について事務局から説明をお願いします。
指導主事	今後の予定について、説明をさせていただきます。 この後、この会でいただきました御意見・御質問等を持ち帰り、必要に応じて作業部会を開催し、最終の修正等を行っていきたく思imasu。その後につきましては、完成したマニュアルを年明けの教育委員会や校長会議等でお示しをし、今年度中に学校にも伝えていき、来年度の4月からスムーズに活用してもらえようように準備をしていきたく思imasu。 またこの会につきましては、年度の始めと終わりに開催し、様々なことについて確認していくとともに、緊急の場合など開催が必要だと判断したときには、お集まりいただきたいと思imasu。
管理指導主事	それでは議題3「その他」、ありますか。
指導主事	ありません。

管理指導主事

それでは、これもちまして令和4年度第2回尾張旭市小中学校食物アレルギー対応検討会議を終了します。ありがとうございました。